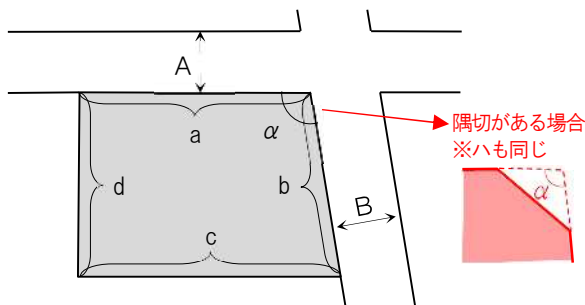


■ 角地緩和の解釈 (昭48. 7 [改正]平22. 12 平29. 4、令7. 4)

昭和25年県告示第715号第二号

イ

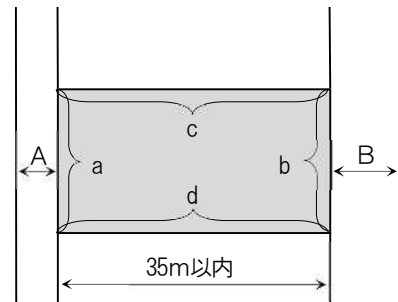
街区の角にある敷地で、前面道路の幅員がそれぞれ6m以上、その和が15m以上あり、且つ、その道路によって形成される角度が内角120度以下で、敷地境界線の総延長の1/3以上がそれらの道路に接するもの。



$$\begin{aligned} A, B &\geq 6\text{m} \\ A+B &\geq 15\text{m} \\ \alpha &\leq 120^\circ \\ \frac{a+b+c+d}{3} &\leq a+b \end{aligned}$$

ロ

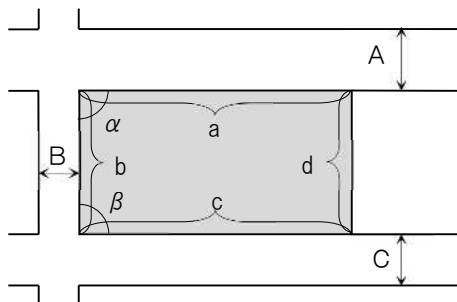
道路境界線の間隔が35m以内の道路の間にある敷地で、その道路の幅員がそれぞれ6m以上、その和が15m以上あり、敷地境界線の総延長の1/8以上が、それぞれの道路に、1/3以上がそれらの道路に接するもの。



$$\begin{aligned} A, B &\geq 6\text{m} \\ A+B &\geq 15\text{m} \\ \frac{a+b+c+d}{8} &\leq a, b \\ \frac{a+b+c+d}{3} &\leq a+b \end{aligned}$$

ハ

三方を道路に囲まれた敷地であつて、前面道路の幅員がそれぞれ6m以上あり、かつ、それらの道路によって形成される角度がそれぞれ内角120度以下で、敷地境界線の総延長の1/3以上がそれらの道路に接するもの。



$$\begin{aligned} A, B, C &\geq 6\text{m} \\ \alpha, \beta &\leq 120^\circ \\ \frac{a+b+c+d}{3} &\leq a+b+c \end{aligned}$$

ニ

公園、広場、水面、その他これらに類するもの（以下「公園等」という。）に接する敷地又は敷地に接する道路の反対側に公園等のある敷地であつて、その公園等を前各号の道路とみなし、前各号の一に該当するもの。